

北播磨地域ビジョン委員会「生活分科会」 第5回記録

- 1 日時：令和2年10月1日（木） 18：00～19：15
- 2 場所：兵庫県社総合庁舎本館入札室
- 3 参加者：生活分科会メンバー5名出席、5名欠席
- 4 企画部会報告について

〇〇委員が出席し資料1により報告された。出席者（副委員長、各分科会長）から意見や質問・要望があった内容をメールによりいただいているので、読み上げて報告する。

《生活（くらし）の絆が深まる分科会に対しては、「災害弱者」に身体障害者のみでなく、妊婦さんや出産間近の赤ちゃんと一緒に避難される家族、ペットとともに避難をされる方、外国人も含めて、是非、考えてみてほしいと意見がありました。

また子供にもわかる防災の情報も入れればいいという意見もありました。

市町専門委員の加東市役所 まちづくり課の企画政策課長の下岡様からは、加東市が外国人対応の防災資料を作成したので、参考にされてはとありました。

次回の第2回企画部会は、来年1月の予定です。》

県民局から補足。「三木市からの発言。運営マニュアルを作成している。気づかれたことがあれば反映できる。」

⇒これに対してビジョン委員から、災害弱者の範囲を広げすぎると、焦点が定まらない。身体障害者に絞った課題を考えてもらい、そこから派生した形で他の災害弱者についての対応を言及する形でいいのではという意見。

5 活動計画の役割分担について

- ア 災害弱者を知る勉強会・・・、
- イ 防災講座の開催・・・、
- ウ 寸劇の実施
- エ 災害復旧現場（防災工事）や防災建造物の見学会
- オ マップ等啓発資材の作成、配布

6 活動計画の具体的実践

寸劇の実施も視座に置きながら、勉強会、防災講座の内容(テーマ、講師等)を構成し、次回発表し実践に向けた活動を開始する。

※見学会と啓発資材の作成は後日の検討とする。

委員間の連絡は、電話連絡のほか LINE を活用する。

寸劇における災害弱者を広げすぎないようにし、主体を絞った理解しやすい内容にする。

7 次回開催予定 11月12日(木) 18時～、県民局入札室

8 閉会